

研修 分科会D「敬語を使って楽しくコミュニケーション」  
単元「相手の気持ちを考えた表現をしよう」(5年)

提案者 三豊市立桑山小学校 教諭  
観音寺市立萩原小学校 教諭

提 案 の 概 要

1 資料を用い提案

国語「相手の気持ちを考えたよりよい表現の仕方について」と総合的な学習とリンクさせた学習の提案

先生と友達と学び(教室) 学びに自信をもたせる。

その後、高齢者の方との交流...とっさのことで敬語がうまく使えなかった子もいたが、高齢者を敬い感謝の気持ちをもって交流できた。

成果

- ・国語と総合を結びつけたことで必要性 and 意欲をもって学んできた。
- ・相手意識と目的意識をもった活動ができた。
- ・高齢者の方との接し方や話し方に自信をもつことができた。



課題

- ・大切さを理解していながらもとまどい。不自然な言葉  
繰り返し使うことで、習熟を図り、自分の言葉にさせたい。
- ・国語科で培った力を活用する学習とはどういうものなのか  
日常生活だけではだめ。読みにも活用できなくてはいけない。  
(それぞれの教科で「活用する」のとらえ方は違う)

例)「注文の多い料理店」の読みに生かす。

「たいへんけっこうでございました。」「おなかにお入り下さい。」

敬語をしっかりとらえられていたら、敬語でないことに気付く。

作者が紳士を皮肉っていることも、とらえられる。

2 演習

その1

人の顔の輪郭をかく。

男の子男とおばあさんおの会話を聞く。

男「おばはん、暑いのお。」

お「そうね、とても暑いわね。」

男「そこでなんしょんな。」

お「草を抜いているのよ。」

男「そなんほっとけやあ。」



男の子の表情を想像してかく。

- ・プラスのイメージ or マイナスのイメージのどちらでかいたか。マイナスイメージ  
\*実は、この男の子、一人暮らしのおばあさんを見かけたら話しかけるやさしい子  
敬語が使えていないだけでマイナスイメージをもたれる。

相手も自分も嫌な思いをしないようにするために 「敬語を勉強しよう」

導入(動機付け)になる。

その2

\*留守中に会社から父に電話 受け答え(ワークシートから)

一人で留守番(顔が見えない、一度しか会わない)するときの対応の仕方です、ずっとマイナスイメージをもたれることもある。

\*御御御付け(おみおつけ) = 味噌汁の丁寧語 = おつけ

「おみ」は接頭語・・・おみ足

教師は、敬語に常に敏感に、美しい日本語を使おうと心がけることが大切である。

習得した基礎基本を、実際に使える場を設定することが重要である。

平成20年度香小研国語部会夏季研修会資料

研修 分科会D

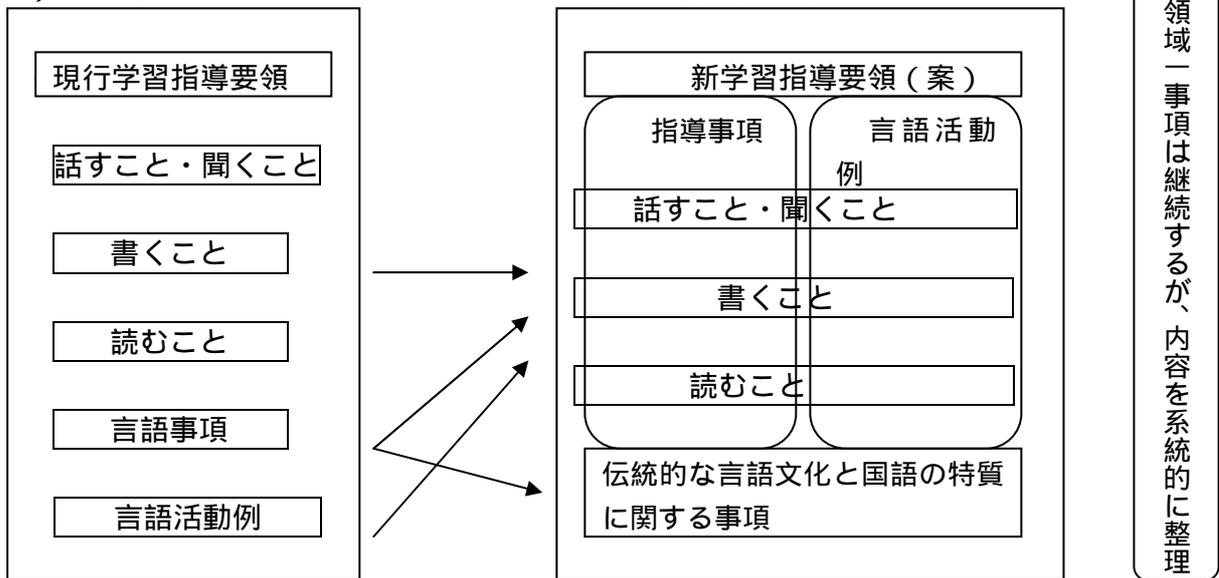
「敬語を使って楽しくコミュニケーション」

5年 単元「相手の気持ちを考えた表現をしよう」

提案者 三豊市立桑山小学校  
観音寺市立萩原小学校

1 新学習指導要領における敬語の位置づけ

(1) 領域構成 小中学校国語科・学習指導要領改訂イメージ



(文部科学省「小学校学習指導要領案関連資料」より)

(2) 敬語・丁寧語

学年	領域	内容
< 1学年及び2学年 >	A 話すこと・聞くこと	イ <u>相手に応じて</u> 、話す事柄を順序立て、 <u>丁寧な言葉と普通</u> の言葉との違いに気を付けて話すこと。
< 3学年及び4学年 >	A 話すこと・聞くこと	イ <u>相手や目的に応じて</u> 、理由や事柄などを挙げながら筋道を立て、 <u>丁寧な言葉</u> を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。
< 5学年及び6学年 >	A 話すこと・聞くこと	イ <u>目的や意図に応じて</u> 、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、 <u>場に応じた適切な言葉遣い</u> で話すこと。

{ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 }

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(ク) 日常よく使われる敬語の使い方に慣れること。

2 敬語の指針より（文化審議会答申 H19・2・2）

（1）敬語についての考え方

「相互尊重」「自己表現」として敬語を使用

敬語は人と人との「相互尊重」の気持ちを基盤とすべきものである。

人と人が互いに認め合い、互いに尊重しあう関係に立つことを、ここでは「相互尊重」と呼んでいる。「相互尊重」とは、年上の人、先輩、上司、教えてくれる人などに対して、年下の人、後輩、部下、教えてもらう側の人、敬いやへりくだりの気持ちを持つ場合だけでなく、逆に、年下の人に対して年上の人、後輩に対して先輩が、部下に対して上司が、教えてもらう側に対して教える側が、それぞれ、相手の立場や状況を理解したり配慮したりする場合をも合わせたとらえ方である。

敬語の使用は、あくまでも「自己表現」であるべきだという点である。

「自己表現」とは、具体的な言語表現に際して、相手や周囲の人との人間関係やその場の状況に対する自らの気持ちのあり方を踏まえて、その都度、主体的な選択や判断をして表現するということである。

（2）敬語のしくみ

3種類	5種類	
尊敬語	「いらっしゃる・おっしゃる」型	尊敬語
謙譲語	「伺う・申し上げる」型	謙譲語
	「参る・申す」型	謙譲語（丁寧語）
丁寧語	「です・ます」型	丁寧語
	「お酒・お料理」型	美化語

敬語の仕組みは、従来の3種類によっても理解できるが、敬語の働きと適切な使い方をより深く理解するためには、更に詳しくとらえ直す必要がある。そのために、5種類に分けて解説するものである。

3 5年「相手の気持ちを考えた表現をしよう」の授業について

（1）5年の敬語

小学校では、全学年において「敬語」「丁寧な言葉」について学習する。5年では、相手とのかかわりにおいて対応する言葉として「敬語」が登場する。「相手や場」に焦点を当て、自分の日常の言葉遣いについて振り返らせる。

（2）授業の主張点

活用型の授業を行う単元構成の工夫



A・・・改めて分かり直しのできる知識・技能（なるほど そうだったのか。）

B・・・より活用を意識するために、具体的に習得した基礎基本が、確実に再現できるような活動の工夫

C・・・教科のねらいが十分達成できるような活動の場（日常・教科）

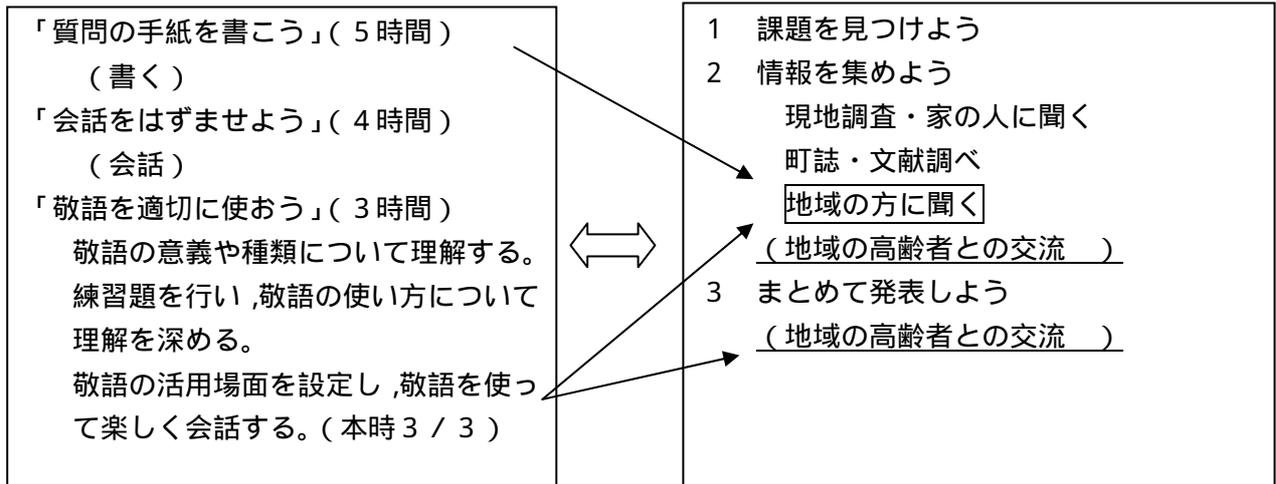
## BCをあわせて活用型の授業

BはCに生かすための練習の場

(生活に密着した練習)

### 相手の気持ちを考えたよりよい表現(書く,話す・聞く,会話する等)の仕方について学ぶ単元構成

国語科「相手の気持ちを考えた表現をしよう」(全12時間)      総合「ふるさと萩原の自慢をしよう」



3つの「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材を総合的な学習とリンクさせ、必要感を持って学習できるよう単元化し位置づける。

- ・教科のねらいが十分達成できるような活用の場を設定すること
- ・相手や場に焦点を当てて単元構成をすること。
- ・1回でなく、何回か継続して活用の場があること。(5回の交流の第1回目)

#### 4 三観小研国語部の研究の方向

「活用する学習の構築」について

- ・活用する力をどう付けていくか。

再生を繰り返し知識を習得 → 活用(目的・場・人を代えて)

- ・教科のねらいが十分達成できるような日常の場と単元化を行う(一つの方法)  
(人とのコミュニケーションの場)

活用と意欲を同時に・・・内的な満足感

## 第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 相手の気持ちを考えた表現をしよう 敬語を適切に使おう

2 単元について

(1) 社会生活や人間関係の多様化が深まる現代社会において、豊かで確かな人間関係を築くためには、人と人とが言語コミュニケーションを円滑に行う必要がある。児童は小学校高学年になり、学校や地域の中で、さまざまな立場の人とかかわる機会が増え、相手や場や状況に応じた適切な接し方や話し方をすることが求められる。ここでは、相手の立場や状況を理解し、自分の気持ちを表す適切な話し方としての敬語について学ぶことで、自己を豊かに表現する一方法を身につけさせたいと考える。

一方、改訂学習指導要領においては、生きる力の育成をめざして「それぞれの教科等の知識・技能を活用する学習活動を重視する」ことや、「全教科・領域で言語活動を充実する」ことが改善の基本方針の中で明記されている。

本単元でも、国語科で敬語についての意義や使い方を学び、それを総合的な学習の時間で活用するという関連を図った指導を行うことで、児童にとってなじみの薄い敬語を学ぶ意欲を高めたり、習熟を図ったりしながら身に付けることができるであろうと考える。また敬語は、人と人とお互いを尊重する気持ちが基盤となっていることや、相手に感謝したり敬意を表したりする自分の気持ちや態度を表すものであることも、身をもって体験から学ぶことができるであろう。

さらに本単元は、敬語指導を含めて、相手の気持ちを考えたよりよい表現（書く・話す・聞く・会話する等）の仕方について学ぶ単元構成になっている。体験を通した言葉で、自己を豊かに表現する力の育成をめざしたい。

(2) 本学級の児童（男子4名・女子9名・合計13名）は、穏やかで、どちらかと言えば恥ずかしがり屋の性格の子が多い。公の場で積極的に発言したり、活発に意見を述べ合ったりすることはあまり得意ではない。また、自分の思いを豊かに表現する力も十分でなく、発言に広がりや深まりが見られない一面がある。

言葉遣いについては、4年生で「お礼の手紙を書こう」の学習において、手紙の中で「～していただき」や「お忙しい中～」など、丁寧な言葉遣いでお礼の気持ちを表すことを学んだが、日頃、教師や上級生に対して、敬語を使う習慣は身に付いておらず、具体的な敬語の言葉さえ十分知らない実態である。

一方、本校では、主に高学年の児童と地域の老人会「三楽会」との交流活動（年間5回程度）を行い、地域の歴史や文化について学んだり、学校田での米づくりを教えていただいたりしている。本学級の児童も、今年度から本格的に始まる三楽会の方々と交流活動を大変楽しみにしているものの、高齢者の方との接し方や話し方を不安に思っている児童も少なくない。しかし「失礼にならないように言葉遣いに気を付けたい。」と多くの児童が考えており、楽しく会話する中で、正しい言葉遣いで高齢者の方々に感謝の気持ちや敬意を表そうという意欲をもっていることが伺える。

(3) 本単元は、総合的な学習の時間の「三楽会との交流会」と関連を図った指導を行う。児童は「質問の手紙を書こう」で、高齢者の方に交流会で教えていただく内容の質問の手紙を書いたり、その手紙を持参したりする活動の中で、失礼にならない丁寧な言葉遣いの大切さについて学んでいる。また「会話をはずませよう」では、相手とかみ合った楽しい会話の仕方についても学んでいる。

本時は、高齢者の方へ質問の手紙を持参した場面を振り返る活動から導入する。うまく話ができ満足していたり、うまく話ができず課題が残ったりする児童の気持ちを話させることで、本時の学習課題解決への意欲を高める。そして次に、6月下旬の交流会での「始めのあいさつ」の全文を全体で推敲しながら、敬語の基本的役割や使い方を再確認する。

その後、敬語を活用する本時の主活動では、高齢者の方との会話を想定して、グループの友達と会話練習をさせる。グループごとに会話練習したり、1グループに全体の前で会話させたりした後、感想や友達のよいところを話し合う場をもち、よりよい敬語の使い方を広げていきたい。

練習の最後に、児童と初対面の参観者の先生と会話させていただくことで、相手や場面が変わっても、学んだ敬語の技能を活用して誰とでも、どんな場面でも会話できるという自信をもたせ、本番の交流会への意欲を高めたい。

6 本時の学習指導

- (1) 目標 敬語を活用する場面（三楽会との交流会）を意識して、正しい敬語の使い方について話し合ったり、友達と楽しく会話したりする活動を通して、相手や場面に合わせて適切に敬語を使うことの大切さを理解することができる。
- (2) 学習指導過程

学習活動および予想される児童の反応	教師の 支援、 評価
<p>1 三楽会の方への敬語の使い方について振り返り、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うまく敬語を使って、失礼にならないように話できたよ。</li> <li>・ さんは留守で、家の人にあずける時の頼み方は、難しかったよ。</li> <li>・ さんに渡しておいてください。よりお渡しください。がよかったかなあ。</li> </ul> </div>	<p>これまでの学習が想起しやすいように、学習したことを掲示したり、板書資料を残しておいたりする。</p> <p>敬語を使った具体的な場面として、三楽会の方へ手紙を持参したときの会話について、想起させる。</p> <p>敬語がうまく話せた点や、課題が残る点などについて話し合うことで、交流会では、もっと上手に敬語を使って話ができるようになりたいという気持ちをもたせる。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>敬語を上手に使って話をしよう。</p> </div>	
<p>2 交流会の「始めのあいさつ」の場面を想定して、敬語の使い方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お過ごしですかやお聞かせくださいなどは、尊敬語が正しく使えているよ。</li> <li>・ 改まった全体の場で話すので、全部丁寧語を使って話をしなければならないな。</li> <li>・ よろしく願います。と、感謝の気持ちのあいさつを入れるといいよ。</li> </ul> </div>	<p>代表児童が考えた交流会の「始めのあいさつ」の全文を提示し、あいさつの言葉や敬語が適切に使えているか、全体で話し合わせる。</p> <p>敬語に加えて、話す内容や態度などについても意見を出し合い、敬意と感謝の気持ちをこめたよりよいものに高めさせる。</p>
<p>3 交流会の「自己紹介タイム」を想定して、友達と会話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Q 私は、～が得意ですが、 さんは、子どものころ、どんなことが<u>お得意</u>でしたか？</p> <p>Q 私が好きな場所は～な所です。 さんは、どんな所が、<u>お好き</u>ですか。</p> <p>A はい。ぼくの好きな教科は、～です。</p> </div>	<p>自己紹介タイム（名前や趣味・特技などを紹介し合って親しくなる）の内容や、進行の仕方を全体で確認させる。</p> <p>進行役や答える者の敬語の使い方について話し合った後、グループで会話練習させる。</p> <p>敬語を使った会話に進んで取り組んでいるか。</p> <p>会話の苦手な児童は、教師や友だちとともに会話の内容や適切な敬語を考えて話させる。</p> <p>最後に、参観者の先生（初対面の方）に児童と会話していただき、本番への意欲を高めさせる。</p>
<p>4 感想を話し合い、学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問の時には、敬語が使えたけど、自分が答えるときには、ふつうの言い方になってしまった。</li> <li>・ さんは、正しく尊敬語や丁寧語が使えていたよ。</li> <li>・ 難しいと思っていたけど、先生と話していて楽しかったし、だんだん慣れてきたよ。本番の交流会が楽しみになってきたよ。</li> </ul> </div>	<p>自分の会話や、友達の会話について感想を述べ合わせる。</p> <p>適切な敬語を使うことの大切さに気付くことができたか。</p> <p>気付きにくい児童には、敬語を使って会話した気持ちをワークシートに記入させる。</p>

### 3 単元目標

敬語の意義や役割を知り、適切な使い方を理解することができる。  
 実際の場面を想定し、相手や場面・状況に応じて、適切に敬語を使うことができる。

### 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語事項
敬語に関心を持ち、その役割を意識して使おうとしている。(観察・ワークシート・評価カード)	自分の言いたいことや尋ねたいことを敬語を使って話すことができる。(観察・評価カード)	敬語を適切に使った文章を書くことができる。(ワークシート・ノート)	敬語が使われている文章や手紙を読むことができる。(観察・ワークシート)	敬語の種類を理解し、相手や場面・状況に応じて、敬語を使うことができる。(観察・ワークシート)

### 5 学習指導計画ならびに関連教材

#### 国語科

#### 大塚学習：総合的な学習の時間

#### 「相手の気持ちを考えた表現をしよう」 (全12時間)

#### 「ふるさと萩原の自慢をしよう」 (全30時間)

4年  
「お礼の手紙を書こう」  
《書く》

4年  
「電話で伝え合おう」  
《話聞》



#### 「質問の手紙を書こう」 5時間

- 1 手紙の書き方を理解する
- 2 聞きたいことをメモに書き出す
- 3 形式に気を付けて書く
- 4 推敲する
- 5 清書する

#### 「会話をはずませよう」 4時間

- 1 例文から問題点を見つける
- 2 注意することを話し合う
- 3・4 会話を深める練習をする

#### 「敬語を適切に使おう」 3時間

- 1 敬語の意義や種類について理解する
- 2 練習題を行い、敬語の使い方について理解を深める
- 3 敬語の活用場面を想定し、敬語を使って楽しく会話をする。(本時3/3)

- 1 課題を見つけよう
  - ・ 萩原寺の歴史を調べよう。
  - ・ 楽しく、美しい萩の丘公園にしよう。
  - ・ 萩祭りでPRしよう。

- 2 情報を集めよう
  - ・ 現地調査
  - ・ 家の人に聞く
  - ・ 町誌、文献調べ
  - ・ **地域の方に聞く 三楽会との交流会**

- 3 まとめて発表しよう
  - ・ パンフレット作り
  - ・ ポスター、看板作り
  - ・ 案内地図作り
  - ・ 三楽会との交流活動

- 4 調べたことをもとに話し合おう

- 5 チャレンジしよう
  - ・ 公園清掃
  - ・ スタンプラリー設置
  - ・ 花いっぱい活動 等